



みよし

令和2年12月22日

文責 久保島 修

2学期もありがとうございました!(^^)!(^_^)v

気候の変化が一番大きいと思われる2学期がまもなく終わります。過日はお忙しい中、「個別懇談」への来校ありがとうございました。短い時間でしたがお子さんのこれまでの成長、これからの成長について担任と話ができていれば幸いです。

教育は「学校教育」「家庭教育」「社会教育」に大別されます。(もちろん明確に区別できない部分もありますし、同じ内容を学校でも家庭でも重ねて教えることもありますね) 基本的な生活習慣、食に関する事、金銭に関する事、自転車の乗り方等は、家庭教育にその多くを委ねることとなります。こうしたことに関しては、今後も学校から遠慮なくお願いをしていきますが、よろしく願います。もちろん学校でその多くを請け負う部分については、遠慮なく御相談ください。懇談を通してお家の方から色々な要望を聞かせていただいた担任もいることかと思えます。「子供のより良い成長のために…」というベクトルを家庭と共有して努めて参ります。今後とも谷村第二小学校教育に変わらぬお力添えをお願い致します。



さて、12月26日(土)より、1月11日(月)まで17日間の「冬休み」に入ります。今年の冬休みは、三密を避け、「我慢の冬休み」と言われていますが、それでもやはり、クリスマスやお正月等の楽しみな行事や、家族や親戚との団らんなど、この時期でなければできない大切な行事や風習があります。各御家庭におきましては、引き続き「マスクの着用」「うがい・手洗い」「ソーシャルディスタンス」を保って「新しい生活様式」での生活をお願い致します。

また、新たな年を迎えますので、「一年の計は元旦にあり」のことわざもありますように、この節目の時に、児童たちが「今年はこんなことを頑張ろう！」

「こんなことに挑戦しよう！」というような目標を持てる機会もつくっていただくと嬉しく思います。

有意義な冬休みとなりますように、健康や安全面の御指導も含めまして、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、地域の皆様にも、本年も多方面に渡りまして御支援をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。引き続き冬休み中も児童の見守りへの御協力を、どうぞよろしくお願い致します。

☆「新型コロナに冬休みはありません！」感染症対策の継続を！

新型コロナウイルスの12月の感染者数が県内で130人を超えました。県内の累計患者数も500人に迫る勢いであることは報道等でご存じかと思えます。学校では「当たり前前を当たり前前…」ということで、あらためて、マスク着用・手洗・密を避ける学習の工夫等を職員と子供たちで確認しました。集団登下校時のマスク着用についても全校で確認しました。しかしながら、教師の目が行き届かないところで密になっているなどということはあろうかと思えます。新しい生活様式にならって過ごすことを大前提に、大切なことは繰り返し、繰り返し、当たり前前にはできるようにしていきましょう。



※冬休み中に児童本人または同居の御家族等が新型コロナウイルス感染に関する検査を受けることが決まりましたら、その時点で速やかに学校(市教委)への連絡をするようお願いいたします。

【冬休み中の連絡先】

○12月28日(月) 1月4日(月)～1月8日(金) 谷村第二小学校(43-2335)へ

◎年末年始休業期間(12月29日(火)～1月3日(日)と1月9日(土) 10日(日) 11日(成人の日)は学校内に教職員が不在となり、原則として全ての業務を行いません。

緊急時の連絡は、**都留市教育委員会 学校教育課(43-1111)へ**お願いします。

学校生活の様子より

新児童会役員決定

11月27日に児童会選挙が行われ、新たな児童会役員が決定しました。

立候補した児童たちは、それぞれに谷村第二小学校を自分はこの学校にしていきたいという熱い思いを持って児童会選挙に臨みました。



【新執行部の顔ぶれ】

児童会長	荻窪	星空	さん
6年副会長	幡野	蓮奈	さん
〃	小林	由依	さん
5年副会長	亀澤	眞生	さん
6年書記	鬢櫛	里保	さん
5年書記	白井	ひなの	さん

選挙運動期間中は学年の仲間の応援を力に頑張り、立会演説会でも各自の思いや公約をしっかりと伝えることができました。

立候補者たちは、この選挙運動を経験して、児童会活動に対しての意識が明らかに高まりましたが立候補者を支えた4年生・5年生たちも、今度は自分たちが学校の先頭に立っていく番が来たという思いが芽生えてきたようで、頼もしく感じられるようになりました。

佐藤義紀児童会長を中心とする、現6年生の先輩が築いてきた谷村第二小学校の児童会を更により良いものに発展させて、全校児童が笑顔で過ごすことの出来る、楽しくて活力に満ちた児童会をつかってほしいと願っています。

「福祉交流会」(11月25日)【第4学年】



4年生が、山梨県ボッチャ協会会長・小林俊介さんをお招きし、「福祉交流会」を実施しました。

講師の小林さんから実際の生活の様子についてお話を聞き、自分たちにどんな手助けが出来るかを、考え学びました。更に、小林さんと、パラリンピック正式種目の「ボッチャ」を楽しみました。このゲームは、健常者も障害者も、子供も大人も同じ目線で、共に楽しむことができ、子供たちは小林さんと一緒に楽しむことができました。

4年生はこの交流会を通してこれからはじまる共生社会に向けて、相手の立場を理解し、どう接していくべきかについて考える機会となりました。

「1年生との交流会」(11月26日)【第6学年】



6年生が、1年生を招いて「1年生との交流会」を開催しました。この交流会は、6年生が「1年生を楽しませるためにはどうしたら良いか」を学級会で話し合い、交流会の内容からゲームの内容・ルールなどを考え、開催してくれました。

1年生は、6年生が考えてくれた「NEW:ドッチボール」や「どろけい」などのゲームで楽しむことができました。また、6年生は「まずは、1年生を楽しませたい」という想いから、相手のことを良く考えてルールを決め、実行することができました。ありがとう6年生!(^_^)!

「避難訓練」(地震体験車)(11月30日)



11月30日(月)に、避難訓練を実施しました。今回は大地震に加え、家庭科室から火災が発生したことを想定しての避難訓練でした。揺れが収まるまでのシェイクアウト体勢や、収まった後の「お・は・し・も」の避難。そして、今回は火災の煙を吸い込まないようにハンカチで口を押さえることも避難の中で確認しました。

校庭に避難ができた後は、県の防災安全センターから地震体験車に来ていただき、センターの職員山下様、金丸様の指導のもと、地震の揺れの体験を行いました。全校児童が体験し、揺れている時に、身体と頭を低くして命を守る体験をしました。最大震度7を体験した5・6年生は、その揺れの激しさに大変驚いていましたが、貴重な経験ができました。各家庭でも防災についてのお話を、再度お願い致します。